

外部からの紹介に対する対応

水産試験場では水産業の振興を目的に、水産関連団体・加工業者を対象とした加工指導業務、小学校等を対象とした校外学習サポートや一般向けのサービスを行っている。

1. 加工指導業務

平成17年度、利用化学グループで実施した試験研究・技術指導・助言などは表1のとおりであった。過去6年間の件数を示したが、平成17年度は33件(前年度41件)だった。

主な課題別対応内容は表2に示したとおりである。

「食の安全・安心」に関わる消費者の関心は依然として高いが、販路開拓を積極的に進める企業、漁協加工場などから新規開発製品の貯蔵性評価や品質評価(成分特性)に関する要請が増大した。水産試験場としては、分析データの提供が販路開拓の一助となるとの見知から、さらに迅速な対応を心掛けていく。

表1 試験研究要請件数

要請団体・組織	件数						備考
	H12	H13	H14	H15	H16	H17	
水産加工業界 漁業者団体等	11	18	14	7	12	11	漁業者、水産加工業者
その他・行政	3	14	4	5	22	13	漁協、県漁連など
	1	12	17	6	7	9	一般・行政組織・研修含む
合計	15	44	35	18	41	33	

表2 主な課題別試験研究、指導・助言内容

<課題内容>	水産加工業界						漁業者・団体等						行政・一般他					
	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H12	H13	H14	H15	H16	H17
<技術開発試験> 製品開発、品質・工程 改良に関するもの	5	13	11	13	10	9	3	12	9	6	7	13	1	9	5	3	2	7
<品質管理> 鮮度、衛生管理などに 関するもの	7	13	6	6	9	10	3	12	6	4	8	11	1	6	5	4	2	7
<品質評価試験> 製品分析、貯蔵性評価 に関するもの	8	15	9	7	7	5	2	9	6	6	13	3	1	7	3	3	3	4
<その他> 水質調査・養殖環境等 に関するもの	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	1	5	2	2	0	2
合計	21	41	26	27	26	24	8	33	21	18	30	27	4	27	15	12	7	20

注)要請件数1件につき複数の課題が含まれているため、課題数は要請件数に比べ多くなっている。

表3に平成12～17年度に実施した分析項目および分析数量について、微生物検査、一般成分分析、水質分析等を含むその他の3区分に分類した。

その結果、平成17年度は、16年度と同様、分析数は多かった。

表3 平成17年度実施分析項目・分析数

分析項目	分 析 数					主な分析項目内容
	H13	H14	H15	H16	H17	
微生物検査	128	122	54	118	35	一般生菌数・大腸菌群・腸炎ビブリオ他
一般成分	134	148	39	105	160	水分量・粗蛋白質・粗脂肪・灰分他
その他	33	0	7	75	112	溶存酸素・重金属類・水質評価指標など
合 計	295	270	100	298	307	

その他研修的業務内容(開催日:研修名(開催地区名など):主催者・依頼者など)

平成17年

- ① 5月13日:水産加工食品製造業技能評価試験対応(西部水産開発協同組合研修生8名受講):全国水産加工業協同組合連合会
- ② 6月26日:和江漁協加工場衛生管理実態調査結果報告会(20名参加):和江漁協・浜田水産事務所
- ③ 7月7日:ふれあい「食体験」事業(75名参加):浜田市子育て支援課
- ④ 7月8日:水産加工食品製造業技能評価試験対応(西部水産開発協同組合研修生10名受講):全国水産加工業協同組合連合会
- ⑤ 7月12日:和江漁協水産加工場の現状と課題について(20名参加):和江漁協・浜田水産事務所
- ⑥ 8月9日:高等学校産業教育実技(水産)講座(9-10日)(8名参加):島根県教育委員会
- ⑦ 12月3日:青魚の加工方法と留意点に関する研修会(40名参加):浜田水産事務所

平成18年

- ① 2月23日:石見地域漁業研修会(メダイの活けしめ他、100名参加):浜田水産事務所
- ② 3月8日:水産加工食品製造業技能評価試験対応(西部水産開発協同組合研修生33名受講):全国水産加工業協同組合連合会
- ③ 3月9日:水産加工食品製造業技能評価試験対応(西部水産開発協同組合研修生2名受講):全国水産加工業協同組合連合会

2. 受入・出前講座等の実績

表4に平成17年度から開始された受入・出前講座等の実績を示した。

表4-1(受入講座)

期日	訪 問 者	人数	内 容
5.25	山口県阿武町老人会	11	施設見学、水試業務概要講義
6.1	江津市立東小学校 5年生	25	社会科学習「水産業」と施設見学
6.7	浜田市立松原小学校 5年生	42	社会科学習「水産業」と施設見学

表4 - 1 (続き)

期日	訪 問 者	人数	内 容
6.17	浜田市立上府小学校 5年生	11	社会科学習「水産業」と施設見学
6.22	三隅町立三隅小学校 5年生	33	社会科学習「水産業」と施設見学
6.23	浜田市立第二中学校 1年生	6	総合学習「浜田の漁業」
6.28	邑南町市木小学校 5・6年生	10	社会科学習「水産業」と施設見学
6.29	三隅町立岡見小学校 5年生	10	社会科学習「水産業」と施設見学
7.27	益田児童相談所	5	水産業の説明と施設見学
8.19	浜田市立松原小学校 5年生	2	社会科学習「水産業」5年生自由学習
8.22	浜田市こくふ・みなと・有福保育園	45	食体験事業(魚のお話とタッチプール)
8.23	浜田市ひかり保育所	26	食体験事業(魚のお話とタッチプール)
8.24	益田高校 1年生	42	SSH 事業、水試研究内容の説明
9.22	旭町旭中学校 2年生	3	総合学習「島根の漁業」
11.2	松江市雑賀公民館	35	水産資源の現状
11.25	松江市立中央小学校 3年生	13	社会科学習「磯の生物」と施設見学

表4 - 2 (出前講座)

期日	名 称	実施場所	参加人数
6月21日	社会科学習「水産業」5年生	長浜小学校	62
7月14日	水産教室	恵曇漁港	60
8月1日	松江っ子サマー・スクール	島根町・鹿島町	30
8月3日	水試フェア(主催)	県民会館	約400
10月23日	サン・レイクフェスティバル	県立青少年の家	約150(担当分)

3. 問合せに対する対応

表5に水産試験場に寄せられる問合せの状況を示した。なお、加工・流通に関する問合せ件数は利用化学グループで対応した分を除いたものを示している。

表5 平成17年度水産試験場へ寄せられた問合せ(企画スタッフ・海洋資源グループ、鹿島分場受け)

問合せ内容	問 合 せ 所 属 名							計
	マスコミ	一般	官公庁	学校	水産団体	漁業者	一般企業	
環境・生態	23	5	9	0	4	1	8	50
漁業・資源	22	6	12	0	5	1	15	61
加工・流通	2	0	2	0	0	0	3	7
魚病	0	0	3	0	4	1	1	9
その他	1	2	2	1	1	0	4	11
計	48	13	28	1	14	3	31	138